

経営比較分析表（令和4年度決算）

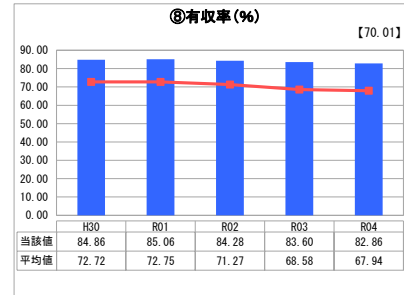
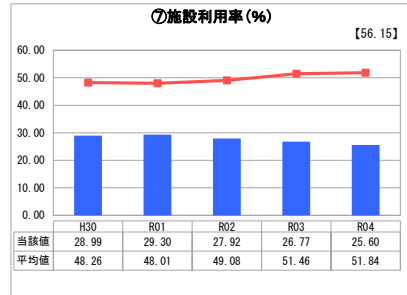
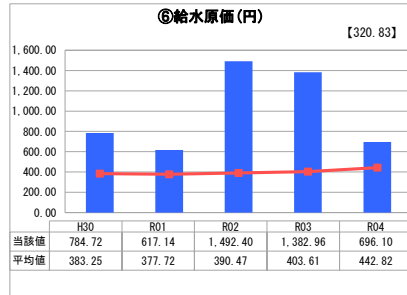
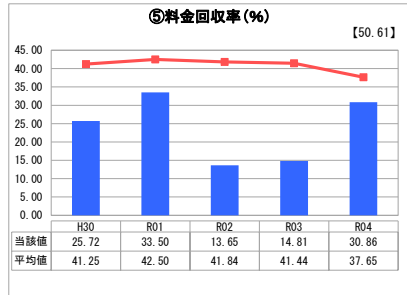
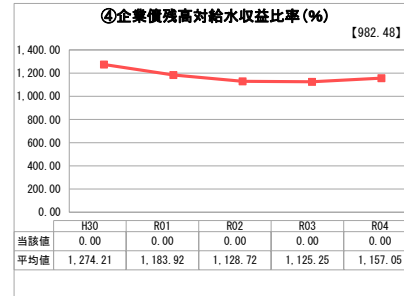
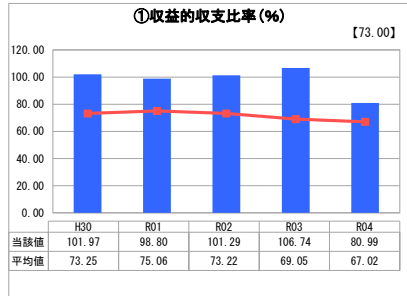
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	該当数値なし	0.31	3,680	

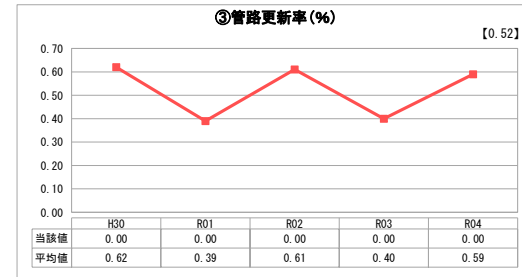
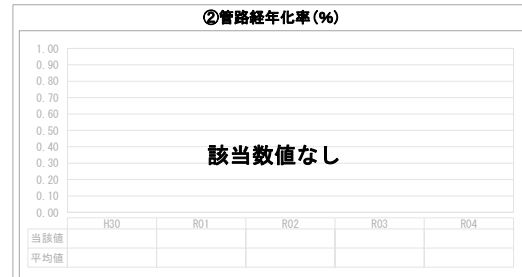
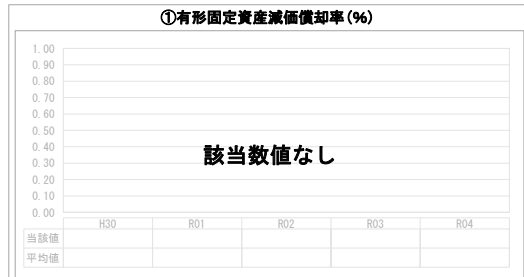
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,228	43.99	368.90
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
50	0.21	238.10

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は平均を上回る数値で推移しているが、今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。
- ・料金回収率は平均値を下回っており、給水収益以外の収入（繰入金）で賄われている状況である。
- ・給水原価については給水人口の減少により、近年平均よりも高い値で推移している。それに加えて令和2年度と令和3年度は修繕費等が増加したため平均値を大きく超える結果となっていたが、令和4年度は修繕費などが減少したため過去2年と比較すると減少した。
- ・施設利用率については人口減少に伴い、計画給水人口に対する実給水人口の割合が低くなっていることから近年平均よりも低い値で推移している。

2. 老朽化の状況について

- ・簡易水道事業を開始して40年が経過している。老朽化した各家庭の配水管の改修工事を行った。今後も老朽化に伴う、修繕等が予測される。

全体総括

- ・簡易水道事業の安定運営、事業継続のため経費削減に努めるとともに、必要に応じて水道料金の見直しを検討する必要がある。
- ・給水人口の減少等により令和6年度からは簡易水道事業から小規模水道事業への移行を実施する予定としている。